



2022年度事業報告書 2022.4.1—2023.3.31

CASIO *View*

 ClassPad.net



2030年度の企業価値最大化に向けてスタート 直近3年で抜本的な収益改善と 経営基盤強化を遂行

時代に適応した「創造 貢献」へ

当社の経営理念「創造 貢献」は、「独自の強みを最大限に活かし、時代の変化に合わせて常に新しい文化を創造することで世の中の役に立ち続ける」という意味です。これまで、パーソナル電卓「カシオミニ」は、生活の中で計算を身近にし、耐衝撃ウォッチ「G-SHOCK」は、腕時計の既成概念を覆して「壊れない時計」を実現しました。

デジタル技術が進化し、機能や性能だけでは優位性を論じられなくなった今、「創造的な活動を通じてお客様の期待と感動を生み、世界の人々の心と暮らしを豊かにする」ことが特に大切だと考えております。時代に適応しながら強みを最大限に活かし、当社にしかできない「創造 貢献」により、世界中の一人ひとりを幸せにまいります。



代表取締役 会長
櫻尾 和宏



代表取締役 社長 CEO 兼 CHRO
増田 裕一

2022年度通期業績のご報告

2022年度通期は、コロナ影響の継続、中国における景気減速、長期化する原材料費・物流費の高騰などの外部環境要因による影響を受けました。厳しい状況の中、「G-SHOCK」高価格帯モデルの好調、対面授業再開に伴う関数電卓のペントアップ需要、および「Privia」最上級ラインの好調継続など一定の成果は得られ、前期と比べて増収減益となりました。

2030年に向けて新経営体制に移行し、 経営基盤を強化

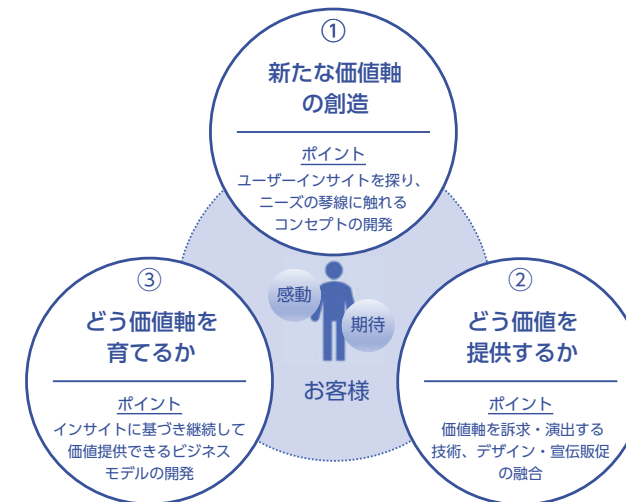
コロナ前の収益力を回復させ、安定したビジネスを展開するため、改めて、2030年度の企業価値最大化をターゲットに、

「市場に新たな価値軸を創り出し、唯一無二のブランドに育て上げる」という経営方針を定めました。

新方針の下、ユーザーニーズを起点とした「新たな価値軸の創造」「どう価値を提供するか」「どう価値軸を育てるか」という3つのステップで、各事業のコアブランドを育成し、各種環境整備、すなわちデジタルマーケティング、デジタルエンジニアリング、そして、それを活用できる人財の活性化を中心に経営基盤を再構築してまいります。また、事業活動を通して社会・環境の課題解決を行うサステナビリティ経営にも注力してまいります。

これらを強力に推進するため、櫻尾が会長として経営の監督を、増田が社長として執行を分担する新経営体制に移行いたしました。

■ 中長期経営方針コア戦略



3ヶ年中期経営計画をスタート

2030年度のあるべき姿からバックキャストして、今年を初年度とする3ヶ年中期経営計画を策定しました。この3年間で「収益基盤強化期」と「変革・イノベーション創造期」と位置づけ、収益力の回復と新たな成長領域への投資を行います。

時計事業は「G-SHOCK」プレミアムラインを、EdTech（教育）事業はICT学習アプリ「ClassPad.net」を、サウンド（楽器）事業は電子ピアノ「Privia」をコアテーマとして、それぞれ新しい価値軸を市場に提案してまいります。また、システム事業と新規事業においては、得意領域に注力して新たな価値軸を創造します。このように、各事業においてお客様の期待を超える唯一無二のブランドへと確立させてまいります。

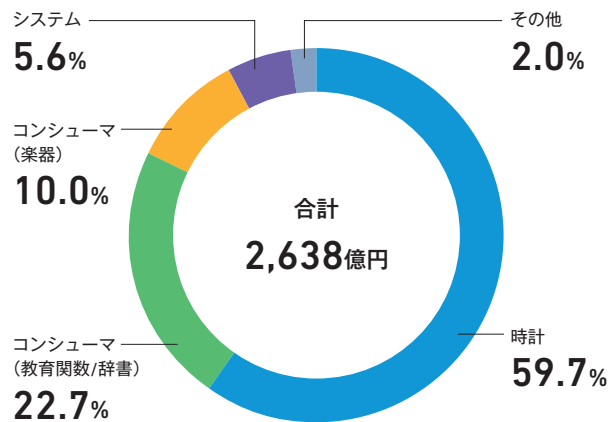
今期は厳しい業績見通しを出しておりますが、新時代に即した強い事業構造へと必ず変革させるための先行投資によるものであることを、強調させていただきます。

なお、株主の皆さまへの配当額は、業績連動および安定配当を基本としており、前年度通期と同額の45円といたしました。今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年度通期業績（連結）

連結	2021年度 通期実績	2022年度 通期実績	前期比
売上高	2,523億円	2,638億円	105%
営業利益	220億円	182億円	83%
利益率	8.7%	6.9%	
経常利益	222億円	196億円	88%
親会社株主に帰属する 当期純利益	159億円	131億円	82%

売上高の事業別構成比



時計	1,575億円
コンシューマ（教育関数/辞書）	600億円
コンシューマ（楽器）	264億円
システム	146億円
その他	54億円

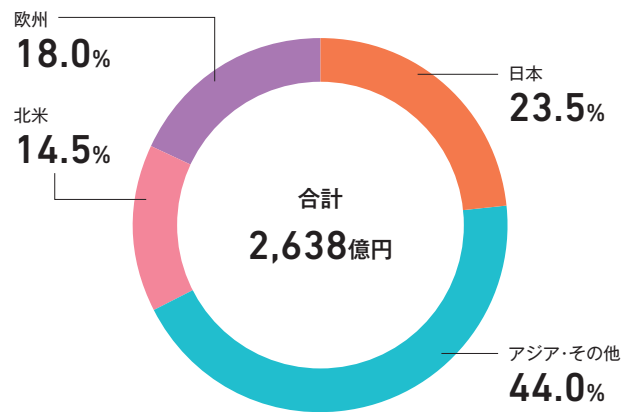
■単位未満を四捨五入しているため、合計値の内訳の計は一致しません。

5年分の財務情報はホームページでご覧いただけます。



<https://www.casio.co.jp/ir/>

売上高の地域別構成比



日本	619億円
アジア・その他	1,160億円
北米	384億円
欧州	475億円

Products
時計



2022年11月5日発売

G-SHOCK MTG-B3000FR/GWG-2040FR
40周年記念モデル第一弾
『Flare Red』

“G-SHOCK”ブランドを象徴する赤色を用いたマーブル模様の積層ベゼルで力強く輝く輝く太陽フレアを表現しました。また、ガラスファイバーのシートには蓄光粒子を混ぜているため、暗間でも光を放ちます。さらに、裏蓋には世界的に有名なグラフィティアーティスト、エリック・ヘイズ氏が手がけた40周年記念ロゴを刻印しました。

Topics
教育

インドネシア教育文化省と
関数電卓活用に向けた覚書を締結

当社のグループ会社カシオシンガポールとインドネシア教育文化省教職員総局が、関数電卓を活用した高校数学授業の定着に向けた協業を行うことで合意し、覚書を締結しました。両者が一体となり、関数電卓を使った高校数学の教材開発や教師のトレーニングを進めています。



覚書締結の様様

Products
時計



2023年3月10日発売

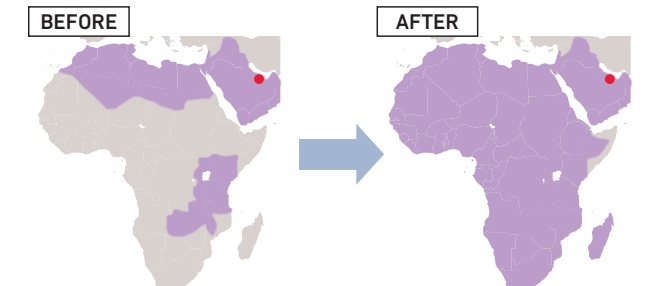
G-SHOCK GBD-H2000
軽量化を実現したマルチスポーツ対応の
“G-SQUAD”

GPS機能のほか、心拍計測が可能な光学式センサー、方位、高度/気圧、温度、加速度、ジャイロの6つのセンサーを搭載し、ランニング、自転車、水泳といったアクティビティでの距離やスピード、ペースなどが計測できます。また、従来モデル「GBD-H1000」に比べ38%軽量化し、装着性を向上させました。

Topics
その他

アフリカにおける営業活動を強化

アフリカにおける事業成長を目的に、ドバイ現地法人のアフリカ地域の管轄エリアを広げ、現地法人の社名を「カシオ・ミドルイースト・アンド・アフリカ」に変更しました。中東・アフリカのハブ拠点として、市場におけるプレゼンス向上を図り、当社製品の浸透と事業拡大を目指してまいります。



2030年に向けた基本方針

経営理念	「創造 貢献」 創造的な活動を通じてお客様の期待と感動を生み、世界の人々の心と暮らしを豊かにする		
経営方針	市場に新たな価値軸を創り出し、唯一無二のブランドに育て上げる		
重点戦略	2030年度までに各事業品目に新たな価値軸となるコアブランドを確立し、企業価値を最大化する		
	新たな価値軸の創造	どう価値を提供するか	どう価値軸を育てるか
コア戦略	ユーザー接点の深掘と行動理解	ユーザー起点のビジネスモデルへの転換	新たなコミュニケーション手法の開発
基盤戦略	「DX」によるバリューチェーン改革 新たな価値軸を創造し続ける「技術」 「人財」の活性化		

3ヶ年計画 ~収益力回復と新たな成長領域投資~

連結	2023年度 通期計画	2025年度 通期計画	2023年度 通期計画			2025年度 通期計画			
			売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益	利益率	
売上高	2,650億円	3,100億円	1,620億円	220億円	14%	1,780億円	300億円	17%	
営業利益	160億円	360億円	860億円	35億円	4%	1,120億円	100億円	9%	
利益率	6%	12%	600億円	55億円	9%	800億円	85億円	11%	
経常利益	150億円		260億円	-20億円	-	320億円	15億円	5%	
当期純利益	105億円		120億円	-25億円	-	150億円	10億円	7%	
1株利益	43.89円		50億円	0	0%	50億円	0	0%	
			調整額	-	-70億円	-	-	-50億円	-
			合計	2,650億円	160億円	6%	3,100億円	360億円	12%

時計事業

“G-SHOCK”の
メタル高価格帯を中心とした
政策投資による収益力回復



商品政策、重点投資

- メタル高価格帯強化、若者/女性向けジャンル強化
- Gブランドへのスマート機能付加による独自価値の提供
- “G-SHOCK” 40周年を軸としたブランド認知拡大のための政策投資拡大

D2C戦略、エリア戦略

- 直営店・直営EC比率を拡大し、粗利率を向上
- 中国：定番商品強化、流通再構築（2大EC維持・新興EC強化）、OMO強化
- 成長国：ポテンシャルの大きいインドにおける新規市場拡大

サウンド(楽器)事業

“Privia”のブランド認知・拡大を
徹底し新たな価値軸として確立



収益性改善

- コストダウン、サプライチェーンの抜本的強化
(生産自動化による加工費改善、安定調達化、生産拠点強化)
- 高付加価値ラインアップの強化
- 物流費抑制、リードタイム改善による積送在庫削減

ブランド認知・拡大

- “Privia”最上級機種を中心に、ライフスタイルを基軸とした独自市場ポジション確立
- Slim & Smart戦略を軸としたJoyment市場拡大
- 専門店流通をはじめとした新規流通開拓

EdTech(教育)事業

ハードとソフトの
融合による
グローバルエリア展開の加速



関数電卓 商品戦略、エリア戦略

- 利益率の高い新機種「New ClassWiz」の拡販と定着
- 新興国GAKUHANによる関数電卓解禁国拡大
- 模倣品対策エリアの特定と正規品シフト施策

アプリ辞書 商品政策、営業体制

- 電子辞書“EX-word”とアプリ“ClassPad.net”の学習データ同期によるアプリ事業の拡販
- 営業体制再編によるアプリ事業拡大体制の構築

システム事業

選択・集中とリソース再配分による効率的な事業運営

- コンパクトな事業運営体制に集約し、成長分野のみにリソース配分
- 成長性の高い人財マネジメント市場でポジション確立

ネクストコア・新規領域の育成

新規領域の育成を目的とし、予算枠の設定、ステージゲートによる段階的ナリソース投入



次代の柱となるネクストコア領域の見極めと育成

メディカル	医療用カメラ(ダーモ/コルポ)+AI診断サポートサービス
HR(ヒューマンリソース)ソリューション	SaaS型人財マネジメントシステム

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
(ホームページ)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 下記の当社ホームページに掲載する。 https://www.casio.co.jp/ir/announce/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

株式に関する住所変更などのお届出およびご照会について

株式に関する各種お届出(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)につきましては、証券会社に口座を開設されている株主さまは、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、左記の電話照会先にご連絡をお願いいたします。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更などのお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。



皆さまの声を聞かせください

当社では、皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6952



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンからもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(https://www.link-cc.co.jp)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 お問い合わせはメールにてお願いいたします。 MAIL : info@e-kabunushi.com

CASIO

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町一丁目6番2号
<https://www.casio.com/jp/>

UD
FONT

